

平成 30 年度「子ども大学さやま」第 3 回目講義

平成 30 年 11 月 17 日（土）子ども大学さやま第 3 回目講義が行なわれました。

子ども大学とは…。

大学のキャンパスなどで小学校では学べないことを大学の先生などの専門家がわかりやすく教えるものです。内容は、

ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」

地域を知り、郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」

自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」

と 3 分野の講義を基本に行なわれるものです。

第 3 回目の講義は、武蔵野学院大学教授 Jeffrey Trambley 先生による、「Let's enjoy English at the Zoo」【はてな学・ふるさと学】でした。

Trambley 先生の「Good Morning」のあいさつに「Good Morning」と大きな声で返した子ども大学学生のみなさん。今日は英語を学びに智光山公園こども動物園に出かけました。事前にグループごとに 3 種類の動物名を英語でわたされています。その動物を探すのが、今日の活動です。Sheep や Horse など身近な動物は見つけやすいですが、英語名だけでは全くわからない動物は苦労してひとつひとつパネルを見ていかななくてはなりません。

学生たちは大学生のアテンダントと相談しながら、英語の意味を考え動物を探して園内を動いていました。ワオキツネザル(Ring-tailed Lemur)やクサガメ(Reeve's Pond Turtle)などが難しかったみたいですが、発見した時には「見つけたー」という声が聞こえました。Trambley 先生もグループに声をかけ英語でヒントをくれます。大学生アテンダントが通訳しながら子どもたちも自然に先生と会話していました。

最後はテンジクネズミがふれあい広場から戻るおかえり橋を見学して活動終了です。動物園の園長先生からは、「外国の動物を扱う動物園では、調べ物をする時も、英語を使わなければならないことが多い」というお話を聞いて子どもたちは、身近な場所でもっと英語を意識してみようと感じたようです。

天気にも恵まれ英語を意識した動物園での活動は、地元の身近な施設の新しい楽しみ方も教えてくれました。

